

オーダーメイド研修のテーマ例

	テーマ	形式	内容
就業支援の基礎	1 障害者雇用の現状と雇用施策	講義 (1時間半程度)	障害者雇用の現状と雇用施策についての理解を深める。
	2 障害特性と支援のポイント（概論）	講義 (2時間程度)	身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害の障害特性と支援のポイントについて理解を深める。
	3 障害特性と職業的課題（各論）	講義 (各1時間半程度)	【例】 ・知的障害の障害特性と支援のポイント ・精神障害の障害特性と支援のポイント ・発達障害の障害特性と支援のポイント …等
	4 事業主支援の基礎理解	講義 (1時間半程度)	企業の視点や企業文化、企業における障害者雇用の課題やニーズ、障害者雇用の方法、支援の心構えやポイントについて理解を深める。
	5 ジョブコーチ支援の理論と実際	講義 (1時間半程度)	ジョブコーチ支援の理論、制度、技術の概要について理解する。
職業評価	6 職業評価概論（職業評価全般）	講義 (1時間半程度)	職業評価の目的、方法、技術の基本について理解を深める。
		演習 (2時間程度)	職業評価における各種検査法について、演習を通じて具体的に理解する。 【検査項目】器具検査、ワークサンプル法、厚生労働省編一般職業適性検査、職業興味検査、性格検査、気分調査、ストレスチェック、疲労・ストレスアセスメントシート…等
7 ワークサンプル幕張版（MWS）の活用のために	講義 (1時間半程度)	「トータルパッケージの概要」や「MWS以外の各ツール等の概要」、「MWSの特徴と機能」、「MWS活用上の留意事項」等、基本事項について理解する。	
	演習 (2時間程度)	各種ワークサンプルについて、演習を通じて具体的に理解する。 【ワークサンプル項目】 ・OA作業（数値入力、文書入力、ファイル整理等） ・事務作業（数値入力、物品請求書作成、作業日報集計等） ・実務作業（ピッキング、重さ計測、プラグタップ組立等）	
職業準備支援	8 JST（職場対人技能トレーニング）について	講義 (1時間30分程度)	JST（職場対人技能トレーニング）の目的、方法、技術の基本について理解を深める。
		演習 (2時間程度)	職業準備支援実施場面の見学を行ったり、JSTの演習を行う。
	9 メモリーノートについて	講義及び演習 (2時間程度)	メモリーノートの活用目的、方法の基本について講義と演習を通じて理解する。
	10 アンガーマネジメントについて	講義及び演習 (2時間程度)	集団支援場面で実施するアンガーマネジメントの教材をもとに、アンガーマネジメントの実施方法について講義と演習を通じて理解する。
11 ナビゲーションブックについて	講義及び演習 (2時間程度)	ナビゲーションブック作成の目的、方法の基本について、講義と演習を通じて理解する。	
職場復帰支援	12 うつ病等で休職中の方に対する職場復帰支援について	講義（1時間程度）	長野障害者職業センターで実施する職場復帰支援（リワーク支援）の概要について理解する。
	13 アサーション講座	講義及び演習 (2時間程度)	長野障害者職業センターの職場復帰支援（リワーク支援）で実施するアサーション講座の概要について講義と演習を通じて理解する。
	14 問題解決技法について	講義及び演習 (2時間程度)	長野障害者職業センターの職場復帰支援（リワーク支援）で実施する問題解決技法講座の概要について講義と演習を通じて理解する。
	15 ストレス対処法講座	講義及び演習 (2時間程度)	長野障害者職業センターの職場復帰支援（リワーク支援）で実施するストレス対処法講座の概要について講義と演習を通じて理解する。
	16 ストレスチェックについて	講義及び演習 (2時間程度)	長野障害者職業センターの職場復帰支援（リワーク支援）で実施するストレスチェックの体験や、結果の読み取り方、支援への活かし方について理解する。